

みんな笑顔で あったかす

# みんなの議会

8

2017

6月定例会号



- 新議会構成決まる
- 第2回定例会
- 第4回臨時会/第5回臨時会/第6回臨時会
- わたしの一言
- 「地域を語ろう会」開催のお知らせ

## 湖水まつり

7月18日、B & G 鷹栖海洋クラブの主催で、丸山調整池にて開かれました。晴天に恵まれたこの日は、会員のほか約120名が来場し、広い湖面でカヌーや手漕ぎボートの試乗を楽しんでいました。

# 新議会構成 決まる

**議長 青野 敏**  
**副議長 新田健一**

任期満了による町議会議員選挙後初の議会が5月2日開催され、議長・副議長の選挙、常任委員会ならびに議会運営委員会委員の選任が行われたほか、次のとおり新しい議会構成が決まりました。

正副議長は議員の投票による選挙で当選



総務文教常任委員長 植西 辰義  
経済福祉常任委員長 藤澤 孝夫  
議会運営委員長 木下 忠行

◎は委員長、○は副委員長です。

## 総務文教常任委員会



中村 公憲 大石 隆  
新田 健一 ◎植西 辰義 ○坂根 玲子

議会運営委員会	◎ 木下 忠行 ○ 神田 悟一 新田 健一 植西 辰義 藤澤 孝夫
議会報特別委員会	◎ 新田 健一 ○ 植西 辰義 神田 悟一 大石 隆 辻本 篤 片山 兵衛
農業委員会委員	近藤 義紀
監査委員	坂根 玲子

## 経済福祉常任委員会



辻本 篤 神田 悟 片山 兵衛  
木下 忠行 ◎藤澤 孝夫 ○近藤 義紀

- 上川中部消防組合議会 議員 青野 敏
- 新田健一
- 藤澤孝夫
- 土地開発公社 理事 新田健一
- 都市計画審議会 委員 大石 隆
- 片山兵衛
- 国民健康保険運営協議会 委員 近藤義紀
- 民生委員推薦会 委員 辻本 篤
- 社会教育委員 委員 中村公憲
- 兼公民館運営審議会 委員 中村公憲
- 坂根玲子
- 藤澤孝夫
- 新田健一
- 大石 隆
- 片山兵衛
- 近藤義紀
- 辻本 篤
- 中村公憲

# 第2回定例会

## 鷹栖町企業立地推進条例改正

鷹栖町における企業の立地および投資推進のために支援を行い、経済の発展と雇用の拡大を図るため、条例を全文改正しました。

(詳しくは鷹栖町ホームページをご覧ください)

第2回定例会は、6月16日から2日間の会期をもって開催しました。  
議長の行動報告と町長の主要な動静について報告を受けた後、4名の議員が一般質問(4〜7ページ)を行い、町長の考えをたえました。  
議事は、報告、条例の改正および一般会計ほか2会計の補正予算、B&G海洋センター改修工事(本体)請負契約などを審議し、原案のとおり議決しました。また、任期満了に伴う議会推薦の農業委員会委員の推薦をしました。

### ■報告

【平成22年度土地開発公社事業及び収支決算並びに平成23年度事業計画及び予算】

標記の件の報告を受けました。

【平成22年度一般会計繰越明許費繰越計算書】

平成22年度に予算措置した「地域活性化交付金」等のうち、次年度に繰り越した北野小学校増築事業、町道舗装事業など13事業(2億6,210万1千円)の報告を受けました。

【平成22年度一般会計事故繰越し繰越計算書】

平成22年度に予算措置した交通安全対策事業について、東日本大震災の影響で機材等の調達ができなかったことにより、繰越事業とした報告を受けました。



### ■条例

【鷹栖町職員の育児休業等に関する条例の一部改正】

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、育児休業のできる職員の対象の拡大などに伴う条例の改正です。

【鷹栖町都市計画審議会条例の一部改正】

町の機構改革に伴い、担当部署の変更に伴う条例の改正です。

### ■意見書

【地方財政の充実・強化を求める意見書】

採択し、関係行政庁に提出しました。

### ■農業委員会委員の推薦

農業委員会委員の任期満了に伴い、議会から次の方を委員として推薦しました。

近藤 義紀 議員

### ■工事請負契約の議決

【B & G海洋センター改修工事(本体)】

- ・契約方法：制限付一般競争入札
- ・契約金額：5,859万円
- ・契約相手方：荒井・日建旭実

特定建設工事共同企業体

### ■補正予算

【一般会計】主な内容は、東日本大震災対応事業、生産基盤整備事業、放課後児童クラブ活動事業、小学校施設整備事業などです。

【介護保険特別会計】主な内容は、平成22年度事業費確定精算によるものです。

【水道事業会計】主な内容は、職員の人事異動などによる増額補正です。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一 般	4,185万5千円	45億2,100万円	45億6,285万5千円
(内 訳)			
議会費	5万8千円	車借上料(議会研修事業)	
総務費	△55万1千円	東日本大震災義援金300万円、職員人件費減額ほか	
民生費	189万6千円	放課後児童クラブ活動事業ほか	
衛生費	188万5千円	各種健康診査事業	
農林費	3,552万9千円	生産基盤整備(農業機械購入補助金:国庫補助)	
商工費	42万円	企業立地推進事業(パンフレット印刷など)	
教育費	261万8千円	北野小学校ボイラー修繕工事	
介護	697万5千円	6億5,681万2千円	6億6,378万7千円
水道			
収益的収入	434万4千円	収益的支出	人事異動による増額
資本的収入	108万5千円	資本的支出	人事異動による増額

質 問

警察団地跡地の利用について

中村 公憲 議員

答 弁

定住対策の活用を図る



現在の警察団地跡地

質問 「平成23年度私

たちのまちづくり」の中で、「警察団地跡地取得事業に4,000万円。北海道から土地を取得し、定住対策用地として具体的な事業を進めます」とあります。

現在、道と協議中とありますが、進ちよく状況ならびに取得の時期をお示しください。

取得後について、町政の執行方針には「公営住宅を含め、賃貸住宅系の住居整備を予定し、具体的事業の検討を進めてまいります」とあります。その具体的事業の検討とは、取得後に検討を始めるのか、取得予定としてすでに始まっているのか

伺います。

また、検討はどの部署が担当しますか。新しい企画・開発であり、規模も大きいので、プロジェクトチームを編成された方が効果的と考えますが、いかがですか。

近隣住民は大変関心を持っていきますので、住民への説明方法など、町長の考えを伺います。

答 弁

警察団地跡地取得の進ちよくですが、道と具体的な協議を進めており、現在、北海道に売却申請書を提出している段階です。今後は、売却申請書が受理され次第、7月下旬頃に、契約・代金の支払いおよび土地

所有権移転登記などを予定しています。なお、取得価格については、議会で決定しました予算の範囲内で取得できる見込みです。

今後においては町内の市街化区域の拡張が難しいため、警察団地跡地の3,500㎡は、住居系定住対策用地としての活用がふさわしいと考えて検討を重ねています。定住対策として活用する方法はいくつかありますが、過疎対策、若年層の定住促進や高齢者の安心な暮らしを確保するほか多角的に検討することが必要と見えます。

実施方法については、町が事業主体で進める方法や、民間の活力を活かす方法も視野に入れて考えています。

検討に当たっては、総務企画課を中心に関係する課が連携を図って、プロジェクト的な方法を含めて、対応したいと思っております。

町民への説明は、活用計画の方向性が具体的に変わった段階で、できるだけ早い時期に、事業予定などの内容を説明したいと考えています。



質問



旧中央小学校体育館

質問

3月11日、三陸沖を震源とした大地震が発生しました。直後に大津波が発生し、一部地域では市街地のほぼ全域が壊滅状態に陥りました。

全国的にも防災計画の見直しが急務となっており、多くの住民が利用する公共施設のうち、現在、耐震化が完了した施設名と進ちょく状況を伺います。

また、町には民間施設の耐震化促進を図るため「住宅耐震改修補助制度」があります。これからの耐震化の推進について町長の考えを伺います。

答弁

施設の耐震診断では、鷹栖小学校およびB&G海洋センターにおいて、建物の安全性が確認されています。

今年度は、旧鷹栖中央小学校で耐震診断を予定しており、今後も施設の利用形態や大規模改修を視野に入れながら、耐震診断・改修を進めていきたいと思えます。

今後とも、建築物の耐震化へ向けての相談業務を行い、特に個人住宅については「既存住宅耐震改修費補助事業」の周知を図ります。

質問

鷹栖町の観光客は北海道新聞によると、平成22年度は30%減の8万人で、あまりにも少なすぎる人数ではないかと考えます。

今回、どういう場所での人数の統計なのか。多くの方に鷹栖町に来ていただき、鷹栖の自然やいろいろな施設を利用してほしいと思えます。

今後、観光客を増加させるために、町としてどのように推進しようと考えているのか伺います。

答弁

鷹栖町では、従前、ゴルフ場とパークゴルフ場の入り込み客数を観光客として捉えておりましたが、22年度に国の

基準の改定により、観光客はゴルフ場の入場者数のみとなり、その結果、30%の減少という形で報道されました。

22年度を21年度と同じ形で計算すると前年度比103・7%と若干上回る結果となります。

鷹栖町にイベントなどで訪れるすべての方が観光客だと思いますし、町民の「おもてなしの心」や人と人のつながりが大切だと確信しています。パレットヒルズは、現況調査を実施し、全体構想を見直し、多くの方に訪れていただけるよう努めます。

町内の建物の耐震化は

答弁

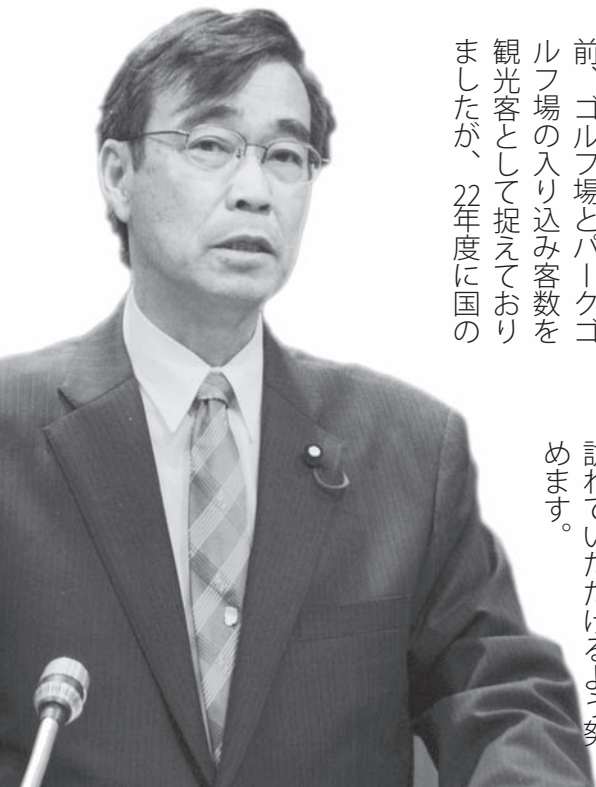
今後とも耐震化を進めたい

答弁

イベントや自然を生かして観光客増を図る

今後観光客を増加させるためには

大石 隆 議員



質 問

# 新規就農者確保の熱意は

片山 兵衛 議員

答 弁

## 担い手確保を今後も推進



新規就農者の秋山春雄さん（北維町内会）

質 問

農業は鷹栖町の基幹産業であり、その盛衰が本町の盛衰につながるといっても過言ではありません。その農業がどうにも元気がない。

10年前、兼業農家を含む農家戸数が642戸、572人いた専業就農者数が、10年後の予測では259戸で平均年齢72・2歳。このままでは鷹栖農業の行く先は暗たんたるものです。そこで、町外からの新規就農者を取り込まなくてはならず、町では平成7年度から新規就農者確保対策事業を開始しましたが、16年間に新規参入者はたったの4人です。この間、他町の場合、上川町では17名、当麻町で

は14名おり、本町は明らかに劣ります。この差はどうして生じるのか。

私は、町の農業に対する危機感の有無、新規参入者を取り込むとする熱意の差だと思います。鷹栖町は、「オオカミの桃」や健康増進事業などを他市町村に先駆けて取り組み、多大な成果を上げてきた経緯があります。

新規参入者の件でも官民の力を寄せ合い、他市町村をあとといわせるような成果を上げることができないか、町長の考えを伺います。

答 弁

「新規就農者・農業後継者対策事業」による平成22年度末までの実績は、新規就農者・農業後継者合わせて60名の方が就農されています。どちらも農業の担い手であり、区別する必要はないと私は考えます。

また、上川町は畜産経営が、当麻町では施設園芸がそれぞれ主体です。当町とは経営形態に根本的な違いがあり、単純にその人数だけで比較することにはならないと思います。新規就農の相談は年に数件あり、実際に話を聞いていただくため、何軒

か農家の方を紹介しています。農業の厳しい現実を知り、就農を断念される方もおられますが、昨年、北野地区に1名の就農もありました。

農業の担い手確保は大変重要なことであり、今後、新規就農者を含めて農業後継者の育成・確保に取り組めます。経営形態については、J/Aや農業普及センターなど関係機関と相談しながら、必要に応じて事業内容の見直し等も行いながら、事業を推進していく考えです。

質問

東北の被災地に町ができることは

農業後継者支援事業の拡充を

新田 健一 議員



炊き出し支援 出発式

答弁

道の取り組みを基本に身の丈にあった形で

答弁

今後も「就農後の支援」で取り組みたい

現在の就農者対策は、以前の制度と比較すると、金額的にかなり縮小した形になっています。

質問

現在の就農者支援事業は過去に比べて支援規模が小さく、農業者の要望に届いていないと思います。農業者が後継者を抱えること、急激に収入を増やすことは困難です。過去の事業のように就農後4～5年の支援体制があると、経営基盤が安定します。

東日本大震災から数カ月になります。町では募金活動はいろいろな組織を通じて行っていますが、それ以外に何も支援体制を示していません。

質問

以前は「生活支援」に重点を置いていた反省点をふまえ、現在は「就農後の支援」に方向転換しています。今後も「就農後の支援」を基本に、町の農業振興のため、就農支援に取り組みます。

被災地への支援は、町民や職域などの協力をいただき、義援金を送ることができました。支援物資も、近隣市町と協力して被災地に届けられることができました。人的支援は、社会福祉

町民の中には、福島県相馬市に炊き出しに行った方がおられます。また、原発事故で被災し、新たに米づくりに挑戦する覚悟で鷹栖町を訪れた方もいます。

質問

今後、被災地や被災者に対して、また、町民ボランティアにどのような支援体制を示していくのか伺います。

質問

法人「さつき会」や社会福祉協議会が取り組んでいます。原発事故で被災された農家の方が、鷹栖町を訪れたことも聞いており、今後の就農支援については、検討課題と考えています。



# 第4回臨時会

5月2日に開催された臨時会において、補正予算の専決処分、購入契約について審議し、原案のとおり可決しました。また、特別功労者の選考について同意しました。

## ■専決処分の承認

【一般会計補正予算】 平成22年度会計における、総額2,114万5千円の増額補正予算です。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般	2,114万5千円	51億1,155万4千円	51億3,269万9千円
総務費	2,114万5千円	財政調整基金積立金（中長期的に健全な財政運営を行うために必要な積立金）	

## ■購入契約の議決

### 【覆土作業用バックホウ】

- ・契約方法：指名競争入札
- ・契約金額：705万6千円
- ・契約相手方：コマツ建機販売株式会社旭川支店

## ■特別功労者の選考同意

永年、消防団員として町の発展に寄与された方の特別功労者の選考に同意しました。

佐竹 文男さん（19線11号）



6月16日定例会前に行われた表彰式

# 第5回臨時会

5月27日に開催された臨時会において、条例改正、補正予算、工事請負契約について審議し、原案のとおり可決しました。

## ■条例

### 【鷹栖町税条例の一部改正】

東日本大震災に係る特例の追加および督促手数料を廃止する改正です。

### 【鷹栖町後期高齢者医療に関する条例及び鷹栖町介護保険条例の一部改正】

督促手数料を廃止する改正です。

### 【鷹栖町国民健康保険条例の一部改正】

出産育児一時金の支給額「35万円」を「39万円」とする改正です。

### 【鷹栖町国民健康保険税条例の一部改正】

国保税率の医療給付費分の引き下げ、後期高齢者支援金分および介護納付金分の所得割などを引き上げる税率改正です。

## ■補正予算

### 【国民健康保険特別会計】

平成22年度事業見込みにより、歳入歳出予算をそれぞれ424万9千円増額し、総額を8億2,557万9千円とするものです。

## ■工事請負契約の議決

### 【北野小学校増築工事（本体）請負契約締結事項の変更】

- ・契約金額：「8,347万5千円」を「8,149万500円」に変更。
- ・変更理由：工事箇所の地盤が良質で、当初設計の長さより短い杭で建築物の支持ができるための設計変更



増築工事中の北野小学校



# 第6回臨時会

7月12日に開催された臨時会において、補正予算、購入契約について審議し、原案のとおり可決しました。

## ■補正予算

【一般会計】 指定文化財保護事業における増額補正です。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般	50万円	45億6,285万5千円	45億6,335万5千円
教育費	50万円	指定文化財（北野神社獅子舞）補助金 （コミュニティ助成により全額補助）	

## ■購入契約の議決【除雪ドーザ】

- ・契約方法：指名競争入札 ・契約金額：1,309万3,500円
- ・契約相手方：北海道川重建機株式会社旭川支店

議会の  
うごき

2011.5.2~7.22

## 全道町村議会議員研修会

（7月5日・札幌コンベンションセンター）

はじめに、東京大学の御厨 貴教授による「今後の政党政治の行方」。東日本大震災復興構想会議の議長代理でもある氏がその経験に基づき、プロセス重視で本音主義だが推進力がない民主党と、結果から決めていき調整・介入もする自民党との違い。その二大政党の今世紀の変遷、若者を中心とした新しく軽やかな政治志向が生まれつつあり、これを従来の政治とつなぐことで今後、政党政治の行方に筋がみえる、との要旨で、わかりやすく興味深い内容でした。

次に、経済評論家の内橋 克人氏による「今後の日本経済展望」。住民を守るのは地方議員であり、陳情政治ではない成熟した地方自治や地域社会に根ざした経済を実現すべきとの要旨。「賢さをともなわない勇気は乱暴なだけであり、勇気をともなわない賢さはくそにもならない」という作家ケストナーの言葉で締めくくる氏の熱弁に叱咤される思いでした。



## ■ 5月

- 2日 第4回議会臨時会・議員協議会
- 9日 上川中央部市・町議会定例議長会議(上川町)
- 10日 鷹栖高等学校の存続を求める要望活動(札幌市)
- 14日 上川町村議会議長会臨時総会(旭川市)
- 19日 議会運営委員会・経済福祉常任委員会・総務文教常任委員会(第5回臨時会で提案される議案について)
- 27日 第5回議会臨時会・議員協議会(鷹栖町地域消費活性化事業について)

## ■ 6月

- 8日 経済福祉常任委員会(第2回定例会で提案される議案について)
- 9日 総務文教常任委員会(第2回定例会で提案される議案について)
- 10日 北海道町村議会議長会定期総会(札幌市)
- 13日 議会運営委員会(第2回定例会で提案される案件や意見書の取り扱いについて協議し、会期などを決定)
- 16日 第2回議会定例会・議会報特別委員会
- 29日 議会報特別委員会・上川議長会役員会(中富良野町)

## ■ 7月

- 1日 議会運営委員会(議会改革について)
- 5日 全道町村議会議員研修会(札幌市)
- 7日 総務文教常任委員会(第6回臨時会で提案される議案について)・議員協議会(安定型最終処分場について)・幌加内町議会視察来町
- 11日 議会報特別委員会
- 12日 第6回議会臨時会・議員協議会(国営緊急農地再編整備事業について)・総務文教常任委員会/経済福祉常任委員会合同町内所管現地調査
- 13日 町村議会新任議員研修会(札幌市)
- 22日 議会報特別委員会

お知らせ——開かれた議会を目指して

## 「地域を語ろう会」を 開催します

- 日程(予定) 10月中・下旬
- 会場(予定) 町内5会場

議会活性化の一環として「議会報告会」を改め、議員が地域の皆さんと町づくりについて懇談する会を開催します。小団体やサークル単位でも開催のご希望がありましたらご連絡ください。詳細は決定次第お知らせします。

【連絡先：議会事務局 電話87-2111】



原崎拓也さん  
(鷹栖北町内会)

# わたしの一言

## あとがき

3月11日の東日本大震災・福島原発事故により被害に遭われた方々に、心よりお見舞申し上げます。政局も混迷している中、被災地の復興に向け、国民生活への影響が心配されます。

さて、春の長雨による農作業の遅れから回復の兆しが見え始め、安堵している農家の方も多と思います。

統一地方選挙後、初めての「みんなの議会」の発行となりました。新しい委員のもと、町民に親しまれる議会広報誌を心がけ、お届けしてまいります。

最後に、今定例会を傍聴いただいた多くの皆さま、また「わたしの一言」にご寄稿くださいました原崎拓也さん ありがとうございます。

### 議会報特別委員会



大石委員 辻本委員 片山委員  
神田委員 新田委員長 植西副委員長

## 鷹栖町へ新規就農

農業を始めるため鷹栖町に移り住んで3年。鷹栖町が友人の故郷で、作りたかったトマト栽培が盛んだったことが一番の理由。サラリーマンを辞めて農業での起業を決意。いくつかの候補地の中から鷹栖町を選んで移住しました。

きっかけは10年ほど前に仕事での農業法人設立のための調査。次第に土の魅力にとりつかれ「老後は農業」で、「元気なうちに農業で」と思いは前のめりに展開していき、土いじりと同時に、就農のための行政相談、ついには農業研修をするまでに熱を帯びていきました。

その間、家族旅行という各地の畑巡りをして、農業の現状を見て回り、家族の気持ちも次第に就農に傾いていった。「今？良かったと思っているよ。収入は確かに減ったけど、間違ってたと思う」。

相談に乗ってくれた役場の担当者や研修先の農家さん、就農先を懸命に探してくれている議員さんやご近所さん。鷹栖町の温かい皆さんに支えられて今日まで過ごしてきました。

脱サラして、田舎に移り住み、トマト生産者として第二の人生を歩んでいきたいと思っています。